

浅川地区住民自治協議会だより



せせらぎ

みんなで創る 元気な浅川！

第 106 号

発行日 令和 7 年 9 月 30 日

発行人 小 林 克 巳

TEL・FAX 026-244-5165

「社会を明るくする運動 浅川地区住民のつどい」開催される

“社会を明るくする運動”はすべての国民が犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動として昭和26年に始められ、今年で75回目になります。

浅川地区では運動強調月間の7月27日（日）「浅川地区住民のつどい」が開催され、若槻地区からの参加者も含めて80名余が参加しました。

最初に若槻大通り交番の廣瀬昭博所長による「浅川地区における最近の犯罪情勢について」の報告が行われました。特に最近も被害が増え続けている「電話でお金詐欺（特殊詐欺）」と現在社会問題化している「SNS投資・ロマンス詐欺」について、実際の詐欺電話のやりとりを紹介しながら注意喚起がなされました。（下記参照）



【若槻交番廣瀬所長の報告】

<令和6年の長野県内における被害状況>

「電話でお金詐欺」⇒ 件数224件、被害額9億5千万円（前年比△1.3%）

「SNS投資・ロマンス詐欺」⇒ 件数141件（前年比+89件）、被害額17億5千万円（同+11億9千万円）

講演では法務省長野少年鑑別所所長の松本誠司さんの「少年司法手続き～少年鑑別所・少年院とは～」と題する講演が行われました。

松本所長さんは今年長野少年鑑別所に赴任され、これまで全国の少年院・刑務所の幹部職員や法務省総合研究所の主任研究官を歴任された経歴から、少年法が対象とする少年

（20歳未満）が、刑事訴訟法に基づき逮捕されてから少年院に収容されるまでと家庭裁判所における審判の手続き、その後の保護処分と鑑別の進め方について詳細な説明がありました。

少年鑑別所では、家庭裁判所の決定に従って医学、心理学、教育学、社会学等の専門的な知識・技術を活用して、少年が非行や犯罪に至った原因を解明し、立ち直りに向けた指針を示す「鑑別」を行うとともに、収容された少年が落ち着いた気持ちで審判に臨むことができるよう「鑑別面接」・「心理検査」等を行ったり、親御さんや先生方の相談にも対応しているということです。

非行や犯罪を犯した少年たちの立ち直りを支えるために少年鑑別所や保護司、そして少年院など多くの機関が携わっており、その中で少年の態様の違いに合わせて、様々な教育体系が組み込まれていることを初めて知ることができました。

また今回刑法において懲役・禁錮を廃止し、これに代わるものとして拘禁刑が創設され、個々の受刑者の特性に応じ改善更生・再犯防止のために必要な作業や指導を行うことができるようになったことに触れられました。



【長野少年鑑別所松本所長の講演】



【浅川地区の保護司会が加わりパネルディスカッション】

ブランド薬師（八櫛神社）社殿の修復完了！

～ 多くのみなさまからご寄付を賜りました！～

長野市の文化財保護事業補助金の採択を受けて、5月に工事が始められた八櫛神社社殿の修復が8月10日に完了しました。

社殿内の拝殿、床、壁、腰板、天井は張り替えられた木の香りが漂っています。拝殿正面の扉には新しい御簾と神前幕がつけられ、奥に鎮座する少彦名命の石仏も満足そうです。

修復に当たっては歴代区長ほか245名に及ぶ区民、市内外の事業所のみなさんからご寄付を賜りました。寄付目標額60万円を大幅に上回る142万5千円（8月末現在）の浄財をいただきましたことをご報告申し上げるとともに、厚くお礼申し上げます。

区民のみなさん、修復なったブランド薬師（八櫛神社）にぜひお越しください。

（八櫛神社保存会・ブランド八櫛公園活性化対策委員会・住民自治協議会）

＜修復工事の経過＞



【工事前】



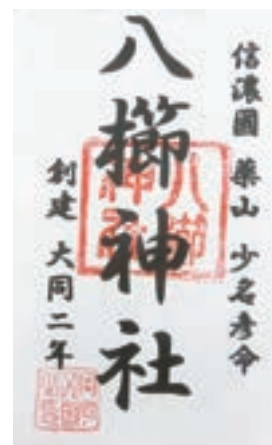
【工事前修復箇所調査・計測（2024.7.30）】



【修復工事開始（2025.5.20）⇒ 修復は順調に進行（2025.6.20）】



【修復工事完了（2025.8.10）～ 神前幕も新調されました。（2025.9.4）】



【お礼もできました！】

「浅川ダム祭り」・浅川ダム展望広場愛護会「夏の農産物祭り」開催される！

7月26日（土）35度を超える猛暑の中、浅川ダム展望広場において「第9回浅川ダム祭り」と愛護会直売「夏の農産物祭り」が開催されました。

直売では野菜や果実が少ない時期なので出品が心配されましたが、沢山の種類の野菜・果実・加工品等が並びました。ぼたんこしょう、ジャンボピーマン、なす、きゅうり、玉ねぎ、じゃがいも、キャベツ、レタス、ズッキーニ、モロッコインゲン、ニンニクなど夏野菜、ブルーベリー、プラム等の果実類、はちみつ、ナスのからし漬け、りんごジュース、ジャム、鹿肉ソーセージなどの加工品に加えて、1匹10円のクワガタ虫は訪れた子どもたちに大人気でした。今回も北部中学校から職場体験学習の一環としてボランティアの生徒さんが参加して直売のお手伝いをしてくれました。

会場で行われたボランティア2団体のバンド演奏では、来場者からの手拍子もあがり大いに盛り上がりしました。

浅川ダムではダム見学会や高所作業車等“働く車”の展示、ドローン操縦体験が行われ、受付では来場者にアルクマくんの塗り絵や浅川ダムの缶バッジが配られました。

また昨年に続いてキッチンカーが出店、ホットドックやアイスの販売も人気でした。



愛護会直売「夏の農産物祭り」



会場で行われた「バンド演奏とオカリナ・コーラスに手拍子も！

みなさんの協力で沢山の野菜・果実が揃いました。
クワガタ虫10円、小さいもの詰め放題100円も大人気でした！



長野ケーブルテレビの取材がありました！



受付で来場者に配られた缶バッジ



ダム見学



ドローン操縦体験



キッチンカーではホットドックとアイス！

浅川地区市民運動会 開かれる！

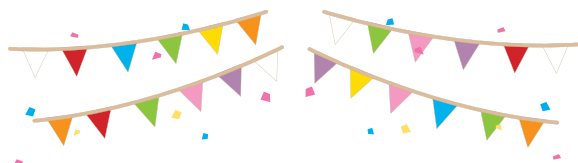
9月7日（日）気温34度の猛暑の一日、熱中症対策に心を砕きながら、浅川地区市民運動会が約300名余の区民の参加で開催されました。区として参加したのは9地区でしたが、そのほかの地区の役員さんも総出で運動会の運営に当たりました。

酷暑の中にも時折吹く風には秋の気配も感じられ、ラジオ体操で体をほぐし、小学校児童競争・旗拾い・ゲートボールリレー・満水リレー・手のひらバランス棒リレー・玉入れの6競技に熱戦が繰り広げられました。今年は子供たちの参加を促すために未就学児の旗拾いを何年かぶりに行いました。旗は信毎販売センターから提供いただきました。

各地区のテントを覗いてみると、語らいながら観戦する大勢の区民の皆さんの笑顔が溢れ、規模は縮小したとはいえ区民が一堂に会する運動会開催の意義を改めて感じました。

（教育文化部会・浅川地区公民館連合会）

【運動会結果】 第1位 屋敷田公民館
第2位 神楽橋公民館
第3位 浅川東条公民館



【かわいい声で選手宣誓】



【小学校児童競争】



【久方ぶりでの未就学児の旗拾い】



【焦るな焦るな！ゲートボールリレー】



【熾烈な戦い！～満水リレー】



【手のひらバランス棒リレー】



【中学生以下の玉入れ】



【地区対抗で玉入れ】



【優勝おめでとう！屋敷田公民館】

消防浅川分団及び鶴賀消防署の訓練が行われる！

防災の日を翌日に控える8月31日（日）、ジリジリと灼けつくような陽射しの下、消防団浅川分団の消防訓練が30名余が参加して行われました。9時からの規律訓練の後の放水訓練ではポンプ2台にホースを何本も連結、延長100m、高低差30mで放水が行われました。

9月7日（日）には浅川一ノ瀬の浅川右岸から畑山諏訪社までの区間において、鶴賀消防署による大掛かりな林野火災対応訓練が行われました。

最近の異常な酷暑と激烈な降雨等、いつ浅川に被害を及ぼすかわかりません。こうした訓練を通じて、消防団活動への理解と防災に対する地域全体での日常的な備えが不可欠だと感じました。



【規律訓練】



【浅川からポンプで取水】



【ホースをつなぎ、ポンプを連結、浅川ダムに向けて放水！】



交通安全子供自転車長野県大会行われる ～ 浅川小学校自転車クラブが出場 ～

浅川小自転車クラブが7月12日（土）に長野運動公園総合体育館で行われた『第58回交通安全子供自転車長野県大会』に出場しました。

同自転車クラブは長野市内小学校の中で唯一のクラブで4月以来浅川地区交通安全協会や警察のみなさんのご指導ご協力で練習を重ねてきました。

県大会には県下小学校から7小学校40人が出場、安全走行と技能走行に臨みました。浅川小学校からは5名のメンバーが出場、結果は団体の部で4位、個人の部では5年生の室賀晴斗さんが8位に入賞しました。少ないメンバーの中で懸命に練習を重ねてきたみなさんに拍手を贈ります。

（安全防災部会・浅川地区交通安全協会 会長 杉原 利治）



長野市霊園でゴマシジミの保護パトロール行われる！



【羽を広げるマシジミ】



【パトロールの様子】

浅川各地区の区長さんが中心となって希少種の蝶ゴマシジミ保護育成を目的とした早朝パトロールを昨年に続いて8月16日～9月5日に行い、密猟者を確認するようなトラブルもなく無事に終わりました。霊園では警察による巡回も実施、また蝶マニアのカメラマンが早朝から熱心に撮影する姿も見られました。

今年は猛暑でフレモコウの開花が遅くゴマシジミの羽化とのタイミングが心配されましたが、お盆過ぎには20頭以上の飛翔が確認されました。

浅川住民自治協議会としては、今後も継続的な保護活動を続けていく予定です。

※長野県内では浅川のほかに奈川村でも保護活動が行われています。

共に生きる



たすけあい事業協力会員研修会を開催しました

地域たすけあい事業の家事援助・福祉移送の協力会員が合同で研修会を行いました。

今回の研修では『暮らしにおける結び方』と『自宅のものをを使った応急手当法』を、地域消防支援員の柄澤さんに教えていただきました。

家事援助では、自宅の片づけをお手伝いする中でいろいろなものを縛る場面があります。また、万が一の怪我に遭遇したときのための応急手当の方法は知っていて損はありません。

お互いに教え合いながら6種類の結び方を練習し、風呂敷を使った応急手当の講義を受けました。

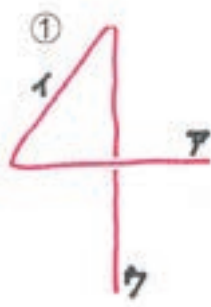
研修内容の一部より、新聞・雑誌の崩れにくい結び方をご紹介します。

福祉自動車運行維持費用を助成するために毎月行っている資源回収では、新聞・雑誌の縛りがゆるい、十字に結ばれていないものがあると回収コンテナへの積み込み作業に苦労します。

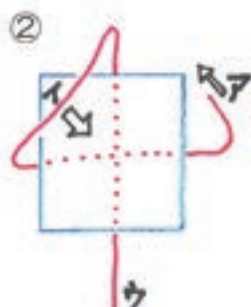
皆さんから縛り方を広めて頂けたら幸いです。



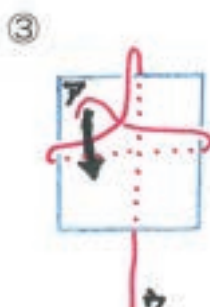
新聞・雑誌の縛り方



4の字形に
紐を置く



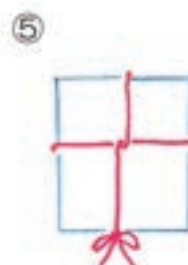
縛る物を中心に
置き、イの紐を
中心へ寄せる



アの紐を
イの紐の下から
くぐらせる



アとウを手前
強く引く



縛る！
角で縛ると
しっかり結べます



8月29日に開催された第71回長野市社会福祉大会において、浅川地区の方が感謝状を授与されました。十年以上の長きにわたり、地区社会福祉協議会の役員として社会福祉活動に携わり、その功績が顕著であると認められました。

吉澤 忠美 様（西平区）

ご協力ありがとうございます

西平区、大池南にお住まいの方が地域たすけあい事業賛助会員になってくださいました。ご協力に感謝申し上げます。

地域たすけあい事業では、賛助会員を募集しています。1口1,000円からの地域支援です。いただいた会費は全額が浅川地区たすけあい事業の運営に使われます。

申込先：たすけあい事業コーディネーター 野口

☎263-3365 まで

浅川葡萄農園だより vol. 4 ～ 浅川醸造所で仕込んだ初ワイン11月に発売！～

9月に入りましたが長野市を含めて全国的にまだまだ残暑が続いています。

今年は雨が非常に少なかったことで病気の発生が抑えられ、ブドウは健全に生育しております。



【シャルドネ】



【ピノ・ノワール】

..... 成熟中のブドウ4種



【マスカットベリー-A】



【山ソービニヨン】

収穫は10月中旬頃を見込んでおり、このまましっかりと生育管理を続け、品質の高いブドウを収穫できるよう、引き続き全力で取り組んでまいります。

また、昨年開業した醸造所で初めて仕込んだワインが、いよいよ11月に発売となります。浅川地区のみなさんには「回覧」でお知らせする予定ですが、11月2日の「浅川ゆうわ祭」会場にて販売いたします！ぜひ会場に足をお運びいただき、直接お手に取っていただければ嬉しいです。

今後とも温かく見守っていただけたら幸いです。よろしくお願いいたします。

（浅川葡萄農園 園主 宋 裕光）

坂中直売所が開設されました！ ～今年で23年目～

7月13日（日）、今年も坂中区のみなさんによる農産物直売所が開設されました。

7時には駐車場が満車になり、整理券を配られたお客さんが開店と同時に競うように目当ての野菜



【みなさんどんどん籠に入れています！】



【直売所を支える皆さん。女性陣はレジ業務で大忙し！】



や果物を買ひ物かごに入れていました。猛暑の影響からか若干野菜類が少なかったせいもあり30分ほどでほとんど完売となりました。初日には来場者に坂中のリンゴで作った缶ジュースとお母さん方手作りの豆菓子が配られました。

今年で23年目の直売所。高齢化の中で大変なご苦勞で直売所を続けている地区・会員のみなさんに敬意を表します。

<今年は7月13日～11月末日まで毎週日曜日に開く予定です。>

～浅川小学校じゃがいも植付け体験学習～

8月27日（水）、4月に3年生1クラス32名の子ども達が坂中の遊休農地に植付けたジャガイモの収穫を行いました。子どもたちは坂中地区のみなさんの協力を得ながら、見事に実ったじゃがいもを歓声を挙げながら掘り出しました。



【(左)説明を受けた後、(右)それぞれの名札をつけた所を掘りました！】

「地域に開かれた学校」の方針の下、浅川地区では多くの関係するみなさんのご支援とご協力で、子どもたちに授業だけでは得られない学習の機会を提供しています。

その他の主な事業・活動

- ☆北部中学校職場体験・郊外学習10月9日（木）・10日（金）
- ☆浅川地区戦没者追悼式（実行委員会主催）10月11日（土）
- ☆浅川小学校「浅川チャレンジ」10月31日（金）
- ☆第43回浅川ゆうわ祭（浅川地区公民館連合会）11月2日（日）

広報委員から

「国守りて山河なし」

8月6日、戦後80年目の「広島原爆慰霊の日」の広島県知事湯崎英彦さんのスピーチの言葉です。各国が自国優先主義に閉じこもり、対立と混迷を深める中で“核抑止”が叫ばれる現状に対して、「もし核による抑止が破られて核戦争になれば人類も地球も再生不能な惨禍に見舞われます。国家は守るが国土も国民も復興不能な結末が有りうる安全保障に、どんな意味があるのでしょうか。」と問いかけ、“核抑止”から“核”を抜けと訴えます。

図らずも体調を崩して入院することになった病床で聴いた言葉が強く心に響きました。

8月の広報委員会も急遽中止することになり、委員のみなさんにご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。

（広報委員会事務局 小川）